

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市乾燥調製施設
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市玉島八島 1 5 1 0 - 1 名称 晴れの国岡山農業協同組合 代表者 代表理事組合長 石我 均
(3) 公の施設の所管部署	船穂支所（農林水産課）
(4) 評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「(1) 防火・防災対策について、(2) 利用者の満足度向上に向けた取り組みについて重点的に評価を行いました。</p> <p>「(1) 防火・防災対策について」</p> <p>作業上、もみ殻など可燃性の細かいものが床へ残留しがちであり、火災の際には大規模化しやすくなるため、こまめに清掃を実施するとともに、このたびネズミ発生の兆候が確認されていた作業場の裏手のデッドスペースについて大規模な清掃を行うことにより、ネズミの電気設備損傷による失火を防ぐ効果を高めることができました。作業スペース及び事務室の整理整頓にも努めており避難経路が常に確保されている状態になっています。</p> <p>また、緊急時事業継続計画を作成し、救急体制についても役割分担や連絡体制が構築されており、十分評価できる内容でした。</p> <p>「(2) 利用者の満足度向上に向けた取り組みについて」</p> <p>操業時期前には業者による定期診断を実施しており、稼働期間中も作業員によるメンテナンス等を実施し、マシントラブルにより利用者に迷惑がかからないように日頃から注意して対応でき</p>	総合評価
	S	

	<p>ています。また、利用希望者には高齢者も多いため、職員が少ない中、訪問による運搬サービスの対応も行っており、利用者に非常に喜ばれています。利用料の設定や職員の対応についても満足度が高く、十分に評価できる内容でした。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>ライスセンターの稼働期間は、10月から11月半ばまでの短期間であり、水稻の乾燥調製を行います。稼働期間中は、作業員を臨時に雇用しています。令和4年度は想定人数の雇用ができず、非常に運営が厳しい年になりました。</p> <p>利用者は、例年継続的に利用している方が大半を占めています。ただ、令和4年度は例年利用していた方が、生産を辞めた或いは外部へ委託した等で、処理量が少なくなりました。</p> <p>当施設の特徴は、個別乾燥を行うことができることです。他者の米と混ざらないことが、利用者に大変喜ばれています。</p> <p>処理量について、令和4年度は水稻の育成がよく、病害虫の被害も少ないようですが、前述のように減少しています。</p> <p>施設設備については、老朽化の問題で、点検・修理に要する費用が多く、機能維持に苦勞をしています。本年度は人的要因の不具合に気を付け運営し、稼働期中のトラブルを抑えることができました。しかし、昨年同様に送風設備の不調により、乾燥機が途中で止まる事態が発生しました。</p> <p>収支の面では、本年度も赤字計上となりました。作業員が集まらなかった為、支出の人件費が増加しています。また、粃くずの処理費用や湿式除塵設備から発生する汚泥処分費といった産業廃棄物の処理費用が今後加算され、健全な収支を保つことができるかどうか大きな不安です。</p> <p>全体を通しては、今年度は作業員確保が大きな課題となり、次年度の作業開始までに、解決策を講じる必要があります。</p>	
(3) アンケート結果の概要	<p>利用者について、前回同様に50代以上の男性がほとんどを占めているため、ある程度固定客がいることが推察されます。地区の分布については、玉島、真備の利用者が増加しており、前回同地域の利用者からの口コミの効果があつたことが一因として挙げられます。利用回数も、前はほとんどが年1回の方でしたが、今回は、年2回も増加し、前回いなかった年3回以上という方も見受けられるようになりました。複数回利用したいと思われるようなサービスが提供できていることが伺えます。持ち込み方法もライスセンター収集が若干増えました。「このサービスがあるから」という利用者も少なからずいると思われるので継続していきたいサービスのひとつとなっています。</p>	

管理運営についての全体満足度は96%を超えていますが、施設の清潔度については若干不満の声があります。しかし、前回は約半数の利用者から不満の声が寄せられていたことを考えるとかなり減少しているため、改善に取り組んだ結果が表れている内容といえます。開館期間、利用料金については、多くの利用者から適当であるとの回答を得ていますが、営業時間延長の要望が年々増えています。

施設利用の理由については、「JAが管理しているから」「個別乾燥だから」という声が多く寄せられました。指定管理者であるJAへの期待と信頼感、また個別乾燥できるという施設の、ハード面、ソフト面双方の特性が利用者に支持されているという結果となりました。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<p>施設の利用実績</p> <p>平成 28 年度 178 件</p> <p>平成 29 年度 199 件</p> <p>平成 30 年度 161 件</p> <p>令和 元年度 162 件</p> <p>令和 2 年度 156 件</p> <p>令和 3 年度 151 件</p> <p>令和 4 年度 137 件</p>
(2) 事業の内容	<p>乾燥調製施設の運営により、水稻栽培農家・高齢農業者・認定農業者の労力削減を図る。</p>

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<p>総額 5,245 千円</p> <p>市からの指定管理料 (委託料) 0 千円</p> <p>利用料金 5,245 千円</p> <p>その他の収入 0 千円</p>
(2) 支出 (指定管理者の支出)	<p>総額 5,483 千円</p> <p>主な支出</p> <p>人件費 2,019 千円</p> <p>光熱水費 1,041 千円</p> <p>修繕料 1,169 千円</p> <p>備品購入費 0 千円</p> <p>消耗品費 324 千円</p> <p>施設管理委託費 241 千円</p> <p>その他経費 689 千円</p>